

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2019. 11. 15

No. 6 2 1

2019年年末手当交渉 最終回答

本部は、11月14日、最終回答を受けました。以下、報告します。

(会社)

2019年年末手当については、基準内賃金の1,60箇月分とする。

なお、災害対応に伴うこれまでの社員の皆さんの労苦に報いるとともに、下半期における一層の奮起を期待して、0,21箇月分を併せて支給する。

(組合)

中間決算が「増収増益」にもかかわらず要求額との乖離があり大変残念である。

台風19号被害をはじめとした多くの自然災害を受け、会社の状況が思わしくないのは理解するが、保険適用・特損処理をすれば損失は緩和され、通期見通しは期待がもてる。

最終回答に対し、前回交渉（会社の考え）より積み増ししたことは評価したい。

本部として、最終回答に納得はしていないが、これ以上の進展は望めないと判断し、収入確保に向け全力を上げることと、2020春闘では3年連続ベア実施を強く要請し、席上妥結とする。

以上